

3年 道徳通信

〇〇〇立 〇〇〇小学校
3年 〇組 担任名

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 1 やさしい人大さくせん

ねらい： 困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てます。

■教材の内容について

掃除の時間、「わたし」が重いバケツを一人で運んでいるとき、6年生の人が優しい声かけとともに、いっしょに運んでくれました。それが、困っている人を見かけたら今度は自分が助けるという「やさしい人大さくせん」を考えたまっかけでした。でも実行しようとする、なかなかできません。

そんなある日、お楽しみ給食会があって給食委員会の6年生がたいへんそう。思わず「お手つだいします。」という言葉とともに、わたしの手がお盆に届いていて、作戦大成功という内容です。

■子供の実態について

自分の心に余裕があるときは相手の気持ちを思いやり、親切にすることができます。しかし、自分が困っているときなど心に余裕がないときは、相手を思いやり親切にすることができません。この時期の子供は、まだまだ自分中心の考え方に基づく行為や、思いつきによるものが多く、必ずしも道徳的とは言えません。

■ご家庭へ

親切とは、相手の気持ちを思いやり、それを行動に移すことです。道徳的な生き方として、いつでも、どんなときでも、相手を思いやり親切にすることが極めて重要です。

ご家庭でも、電車やバスなどの公共機関でのマナーや、困っている人を見かけたとき、どのようなことができるかを、お子さんといっしょに話し合っただきたいと思います。お子さんの発する思いやりの言葉は、ぜひ褒めてあげてください。そして、励ましていただき、真に思いやりの心が身につくようにしていただきたいと思います。

.....キリトリセン.....

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()
